

令和 6 年 1 1 月 1 3 日

高根地区第 4 回学校運営協議会会議録

本高根地区第 4 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 6 年 1 1 月 1 3 日（水）
場 所	高根小中学校 視聴覚室
出 席 者	柳沢、阿部、日野、行成、渡辺、菌部、平井、河本、松本、小坂井、三芳 傍聴人 1 名
欠 席 者	大澤
審 議 事 項 及び決定事項等	1 学校評価の項目内容の検討と承認 【決定事項等】 提案内容通りで承認された
会 議 資 料	学校評価シート、地域学校協働活動推進フォーラム
会 議 の 経 過	1 大運動会を終えて成果と課題 校長：教職員、スポ協との反省を基に来年に向けての話し合いとなれば。当日雨が降ったため、地区運動会と小中の運動会が別日になった。教職員の反省として、雨の日にもかかわらず 6 0 0 人いたため、体育館が人でいっぱいになり、低学年の児童たちが危なかった。玉入れはなくてもよかった。ただ、日高小唄は地域の方とふれ合うことができたととてもよかった。児童生徒の反省からは、もっと競技がしたかった。全体的には、肯定意見 7 ～ 8 割あった。学年によって意見の偏りがあった。その意見を率直に受け止めて来年に生かしたい。児童生徒のみ運動会の反省では、高根中・高根小・地区の運動会を合わせたため、各年代の競技数が減ってしまったとの意見があった。ただ、日高小唄と地域種目が当日なかったため、その分出番が少なくなったと考えられる。小学校は下校時間が決まっているために、14 時 30 分までに終了させなくてはいけないため、時間に関してはやりくりして実施していきたい。スポ協の種目が入れば若干変わるのでは。雨天の日の準備不足はいなめなかった。理由として、初めての運動会で晴れの日の準備に時間と労力が必要だったため、スポ協との打ち合わせの機会を上手に持つことができなかったり、準備に多くの時間を割いたりすることができなかった。準備不足の例としては、雨の日の

受付の仕方、地域の方の居場所、道具置き場などを検討する必要がある。また、ナンバリングの番号で地域の方が玉入れに参加することになっていたが、上手に地域の方が玉入れに参加できなかった。また、ナンバリングに時間がかかりすぎた。全体的には肯定的な意見が多かった。後期生徒も前期児童もできてよかったとの称賛の意見が多かった。忌憚のない意見を聞かせてほしい。

会長：参加した方の意見を

渡辺：今回の運動会は校長とスポ協の意見が一致していたからできた。来年もこの体制で行ったほうがよいという意見が反省会でも多かった。

会長：雨の日について意見はあったのか

渡辺：雨の日の準備は反省会でしていた。たくさんくることを糧にすればよい。

会長：雨の日はやめることは考えなかったか。

校長：順延日が7日（月）になっていたため、地域の方には仕事があるため、その配慮として雨の日でも実施した。

校長：学校としては、来年は順延する案が出ている。

行成：スポ協と自治会の区長として、地域の方がたくさんきてくれた。お弁当を106個配布し、とてもよかった。少数校ならではのやり方で少しは盛り上がったのではないかな。

河本：狭かったと感じた。娘も地域の方と一緒に運動会をしたかったといっていたので、順延したほうが良いと思う。

平井：小中のみの運動会では、前期の子が待っているとき、つまらないのであった。来年は後期→ブロック→前期の順でできたらいいのでは。

会長：もう一度種目順の確認を

校長：プログラムの説明。

平井：1～3年だけでも徒競走ができないか。レーン数を増やすことはできないか。

校長：人数も減ってきているので、検討はできるかも。あとはどこまで子供たちの体力が持つかが心配である。

行成：今年を基本にし、来年度のことを考えていくのがいいのでは。自治会の立場としては、あの場に行くことで地域の交流ができたことがよかった。

校長：雨が降ったことで逆に地域の方との距離が近くてよかったとの声もあった。

	行成：学校も忙しい中、調整が大変だと思うが調整できたらと思う。 渡辺：来年以降も、学校が主でスポ協が協力する形がよい。プログラムづくりが大変であると思うが徒競走があると活気が生まれるのでは 指導幹：小中と地区を合わせて行うには目的が大事である。例えば、他の小学校では午前中で終了し、働き方改革を推進している。600人も参加していることから地区に子供たちを返す考え方もあるのでは。お互いの分担が楽になるのではないか。 会長：教員の仕事が増えるのはよくない。 行成：地域が高齢化社会となっているので。 指導幹：保護者を巻き込む考えがある。 会長：スポ協と保護者が動いてもらうことが必要 藺部：若い世代がいかに参加してくれるかが大事 行成：みんなの協力があるかは疑問であった。 指導幹：今回の運動会は他地域の参考になる取り組みであった。 2 音楽祭を終えて成果と課題 校長：学級数が減ったため、今年からコンクール形式をやめ、音楽祭として実施した。また、5年生が市内音楽祭に参加するため、発表は全校合唱と5・7・8・9年生の合唱とした。その後、全校児童生徒でレクリエーションなどを行う文化祭を実施した。音楽祭では、9年のすごさを感じた。2週間と短い練習期間の中でよく仕上げた。また、各学年の発表もよかった。 阿部：聞いている側として、子供の成長が如実に感じる事ができたのがよかった。今のやり方で時間が余るなら、大人の歌もあってはいいいのでは。地域の合唱団とかPTAとか。 行成：昔はPTA合唱があった。その当時は教員も特別参加したこともあった。とてもよかった。 校長：去年は高校生を呼んで歌ってもらい、とてもよかったので、今後は高校生を呼ぶことも考えていく。 指導幹：地域の力を使ったほうがよい。学校ばかりにすると疲弊してしまうので。 校長：公民館の文化祭と一緒にすることも考えたが今年は実現しなかった。 行成：コンクールでないが、緊張感が伝わり、こだわった演出がありとてもよかった。 会長：時間が短くてもったいなかった感じがする。出場の方が1年生
--	---

	などの低学年にあってもよかったのではないかと。1年生がしっかり聞けていて感心した。 行成：全校合唱がとてもよかった。 会長：文化祭は計画していたのか。子供たちの計画か。 校長：すべて子供たちの提案で実施した。 3 学校評価の項目内容の検討と承認 校長：昨年度と同じ項目にしている。高根小中学校として評価をしてもらいたい。学校自己評価の記入説明。項目を同じにした理由は昨年度との比較を明確にするため。 日野：項目8のPTAの組織とはどうなっているのか 校長：本部役員のみとなっている。行事での協力はボランティア募集となっている。 会長：うまくいっているのか 平井：今まで、学校からの要請がない。 行成：保護者の数が少ない、仕事もあるのでPTA活動が負担になっている。 渡辺：ニュースでも流れていて、PTAを維持していくのが難しい状態 日野：防犯パトロールがあった場合、話としては乗ってもらえるのか。 平井：はい。 会長：PTAを無くしたいのか 平井：なくしたくないのでこの組織となった。 校長：他校では、子供会などで通学班を決めているが、本校は前期の通学班編成を行うのが教員であり、教員の負担がかなり大きい。特に人間関係の意見が多いため。今後、負担軽減として通学班を無くす必要があるかも。 行成：他の地区では子供会に入会していないと班に入れないとの話を聞いたことがある。 指導幹：実際に会費を払っていないから通学班ダメとはなっていない。校長からもあった通り、保護者の意見が多くて学校は疲弊している。学校・保護者・地域で役割分担を見直すことが大事になる。
--	--